

グローバルにおけるオフハイウェイ車両の電動化動向の見通し（～2030年）

【概要】

本調査では、オフハイウェイ用電動パワートレイン市場の市場全体への浸透のベンチマーキングおよび市場成長に影響を与える市場動向の特定・分析を実施しています。技術動向と市場成長要因・阻害要因の分析に基づく市場概況、さらに競争要因、競合市場シェア、および製品ポートフォリオの分析に基づく競合分析結果も提供しています。具体的には、世界のオフハイウェイ車両におけるハイブリッドと電動パワートレインの市場構造、OHVの電化分野で高い成長が期待される車両、グローバル市場の成長要因、課題および機会、競合シナリオの進化、新製品と電動化に向けた戦略、電気・ハイブリッド技術で現在稼働する車両、などが含まれています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2016年から2030年までです。

【内容一覧】

エグゼクティブサマリー

調査の範囲、目的、背景、手法

市場の概況と分類

市場力学

技術動向と分析

- ・オフハイウェイ車両業界におけるハイブリッド化と電動化の歴史的発展
- ・グローバルビジネスの見通し
- ・技術分析：技術ロードマップ
- ・技術ロードマップの解説
- ・建設機械の排出ガスに影響する要因
- ・ハイブリッドパワートレインのニーズ
- ・主なハイブリッドパワートレインサブシステム
- ・排出規制のグローバル概況
- ・排出基準ロードマップ
- ・排出基準
- ・排出基準：欧州規格
- ・排出基準：EPA規格
- ・排出基準：Bharat Stage（インド環境基準）

定量的予測

- ・オフハイウェイ車両のハイブリッド化：市場見通し
- ・グローバルにおける排出関連技術開発の概要
- ・世界のオフハイウェイ車両の出荷予測
- ・予測の前提
- ・オフハイウェイ車両の電動化傾向：小型トラクター（19～56 kW）
- ・オフハイウェイ車両の電動化傾向：大型トラクター（56～160 kW）
- ・オフハイウェイ車両の電動化傾向：小型ショベル（19～56 kW）

- オフハイウェイ車両の電動化傾向：大型ショベル (56～160 kW)
- オフハイウェイ車両の電動化傾向：小型ローダー (19～56 kW)
- オフハイウェイ車両の電動化傾向：大型ローダー (56～160 kW)
- オフハイウェイ車両の電動化傾向：小型ドーザー (19～56 kW)
- オフハイウェイ車両の電動化傾向：大型ドーザー (56～160 kW)
- 考察

競合情勢

- CATERPILLAR 社
- OEM 分析：CATERPILLAR 社
- LIEBHERR 社
- TEREX 社
- Volvo Construction Equipment 社
- OEM 分析：Volvo 社
- コマツ
- Doosan Infracore 社
- 日立建機
- CNH Industrial 社
- SANY HEAVY INDUSTRY 社
- ヤンマー
- Mitsubishi Heavy Equipment 社
- OEM 分析：Deutz-Heinzmann 社
- OEM 分析：Mecalac 社
- 提供製品

成長機会

結論と今後の見通し

付録